

学科学年	1年	科目分類	工学基礎Ⅰ	講義 必修	H24(通年) 1履修単位	学習教育 目標 1	担当	押川 達夫 遠山 和之 勝山 智男
概要	1年次に学習する共通実験と並行して学習する。工学を目指す初学年者にとって、最も基本的で重要な工学の基礎を学習する。これは2年生以降の高学年でも専門性が異なっても共通する重要事項の学習内容である。							
科目目標 (到達目標)	工学に共通の基礎知識を身につける							
教科書 器材等	沼津高専・工学基礎実験指導書・関数電卓							
評価の基準と 方法	授業時間内に行う2度の試験および学年末の定期試験の平均点で評価する。満点の60%で合格とする。ただし、レポート等により、十分に学習内容を理解したことが確認できた場合は最低点で合格させることがある。							
関連科目	工学基礎Ⅱ							
授業計画								
回	期	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)					
1			なぜ工学を学ぶのか ・沼津高専のアドミッションポリシーと教育目標 ・工学を学ぶ心得 ・技術者倫理					
2	I		事故防止のための安全教育(1):薬品の安全な取り扱い方①					
3		事故防止のための安全教育(2):薬品の安全な取り扱い方②						
4		事故防止のための安全教育(3):薬品の安全な取り扱い方③						
5		電圧電流測定技術(1):電圧計と電流計の原理と基本的使用方法,電卓の使用法						
6		電圧電流測定技術(2):電圧計と電流計の原理と基本的使用方法,電卓の使用法						
7		電圧電流測定技術(3):電圧計と電流計の原理と基本的使用方法,電卓の使用法						
8		沼津高専の勉強						
9		報告書の書き方(1):実験ノートのとりかたとノートの重要性						
10		報告書の書き方(2):グラフと図の書き方						
11			×	まとめと試験(1)				
12	II		事故防止のための安全教育(1):火気の安全な使用と作業服の重要性①					
13		事故防止のための安全教育(2):火気の安全な使用と作業服の重要性②						
14		事故防止のための安全教育(3):火気の安全な使用について③,地震対策						
15		事故防止のための安全教育(4):電気器具の安全な使用について①						
16		事故防止のための安全教育(5):電気器具の安全な使用について②						
17		事故防止のための安全教育(6):電気器具の安全な使用について③						
18		誤差と有効数字(1):有効数字の桁数、有効数字の丸め方、精度と誤差						
19		誤差と有効数字(2):有効数字の桁数、有効数字の丸め方、精度と誤差						
20		誤差と有効数字(3):有効数字の桁数、有効数字の丸め方、精度と誤差						
21		×	まとめと試験(2)					
22	III		事故対応について(1):事故時の報告・連絡・相談					
23		事故対応について(2):応急処置①						
24		知的財産について						
25		単位と工業規格(1):SI単位と組立単位およびJIS規格について①						
26		単位と工業規格(2):SI単位と組立単位およびJIS規格について②						
27		単位と工業規格(3):SI単位と組立単位およびJIS規格について②						
28		地球環境問題:工学技術の発展と環境問題						
29		地球環境問題:ごみの分別と排水処理						
30		地球環境問題:環境倫理,持続可能性						
期末試験			×					

第Ⅰ期,第Ⅱ期,第Ⅲ期のそれぞれの範囲内で講義の順はクラスにより異なる					
講義室:	選択制34	各クラスの出席番号1-14番	押川>	遠山>	勝山の順
	第1視聴覚	各クラスの出席番号15-28番	遠山>	勝山>	押川の順
	選択制2*	各クラスの出席番号29- 番	勝山>	押川>	遠山の順

\* 後期は開催教室未定